



TaqMan PCR

CT/NG検査は、広い視点で捉えたい。



性器と咽頭。淋菌とクラミジア。
どちらも診るのが大切。

その理由は裏面に



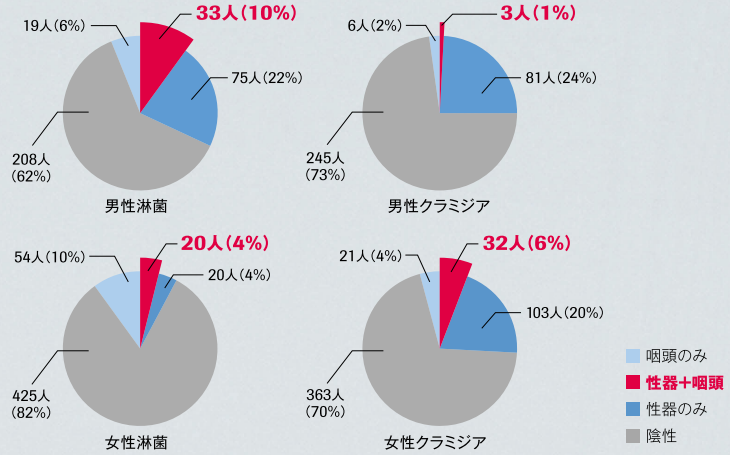
両方検査が重要。その理由が、ここにあります。

性器と咽頭。どちらも検査が必要なのはどうして？

女性における淋菌の陽性率は、性器よりも咽頭の方が高いという結果に。また、性器と咽頭の重複感染の他に、咽頭のみ感染も見られます。この結果から考えても、性器と咽頭の両方を検査することは、とても大切であると言えます。

(Japan Medicine MONTHLY No.24/2011年12月25日発行)

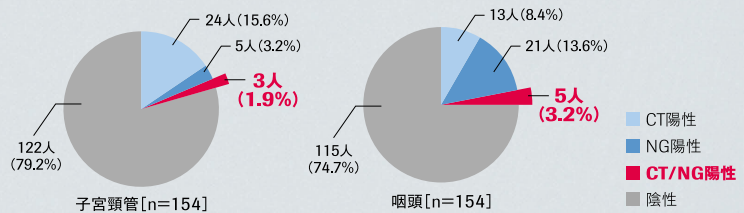
〈咽頭と性器の同時検査における陽性者数と割合〉



淋菌とクラミジア。同時検査が必要なのはなぜ？

性器クラミジアの感染者(27人)のうち、11%(3人)が淋菌にも重複感染。咽頭クラミジアでも、約28%(18人中5人)が重複感染しているという報告があります。淋菌とクラミジアを同時に検査することは、とても重要なことなのです。

性感染症の効果的な蔓延防止に関する研究(2004年)より引用*
*:ハイリスク群を対象としてスクリーニング



CDC(アメリカ予防医学協会)の勧告にて、TaqMan PCRによるCT/NG検査は、Neisseria属の交差反応性がないリアルタイムPCRとして紹介されています。
(2014年3月14日)

220例のナイセリア属のパネルを測定した結果、ナイセリアゴノレア以外のパネルは全て陰性の結果が得られました。

Neisseria属	テスト数	TaqMan PCR
<i>N.canis</i>	1	neg
<i>N.cinerea</i>	10	neg
<i>N.elongata</i>	1	neg
<i>N.flavescens</i>	2	neg
<i>N.lactamica</i>	20	neg
<i>N.meningitidis</i>	36	neg
<i>N.mucosa</i>	9	neg
<i>N.polysacchareae</i>	5	neg
<i>N.sicca</i>	8	neg
<i>N.subflava</i>	37	neg
<i>N.weaveri</i>	1	neg
<i>Moraxella[Branhamella] catarrhalis</i>	14	neg
TOTAL	144	
<i>N.gonorrhoeae</i> (淋菌)	テスト数	TaqMan PCR
TOTAL	76	All Positive

Poster presented at the Clinical Virology Society meeting (CVS), Daytona Beach, USA, April 2010